

第153回 がん診療研修会を開催しました

<座長> 袖山 治嗣 院長補佐
(当院 外科部長兼がん治療センター長)

「現代がん医療と漢方:その役割とエビデンス」

<講師> 元雄 良治 先生
(金沢医科大学腫瘍内科学 主任教授 集学的がん治療センター長)

平成30年6月7日(木) 第1研修ホールにて、がん診療研修会を開催しました。

日本がんサポーターケア学会(JASCC)「漢方部会」の部会長、日本東洋医学会 EBM 委員会の委員長として活躍されている 元雄 良治 先生をお招きし、現代がん医療における漢方の役割、エビデンスの検証について講義いただきました。



<講師> 元雄 良治 先生
金沢医科大学腫瘍内科学
主任教授 集学的がん治療センター長



<座長> 袖山 治嗣 院長補佐
当院 外科部長兼がん治療センター長

講義内容

がんサポーターケアとしての漢方
化学療法サポートチームと漢方
漢方のエビデンスの検証
実際の漢方処方例と処方解説





質疑応答では、たくさんの質問があがり、
情報交換も十分できた充実した研修会となりました。



会場アンケートでは、「末梢神経障害に
有効な漢方の学びを得ることができた」、
「症例や漢方薬の説明が分かりやすかった」
などの感想が多数あり、漢方に対しての知
識を得る機会となりました。

●がん診療研修会は医療従事者を対象に随時開催しています●

- ★長野赤十字病院は国が指定する「地域がん診療連携拠点病院」です。
がん対策は、平成 19 年 4 月に施行されたがん対策基本法の基本理念にのっとり推進されています。
そのなかで、厚生労働省は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん診療連携拠点病院の整備をすすめています。
- ★地域がん診療連携拠点病院の役割
 - ◆専門的ながん医療の提供◆地域におけるがん診療連携協力◆がん患者さんに対する相談支援及び情報提供